

名古屋市 中村保健センター
保健予防課 課長補佐（保健感染症）永田 光映
（兼務 保健管理課 課長補佐（健康危機管理））

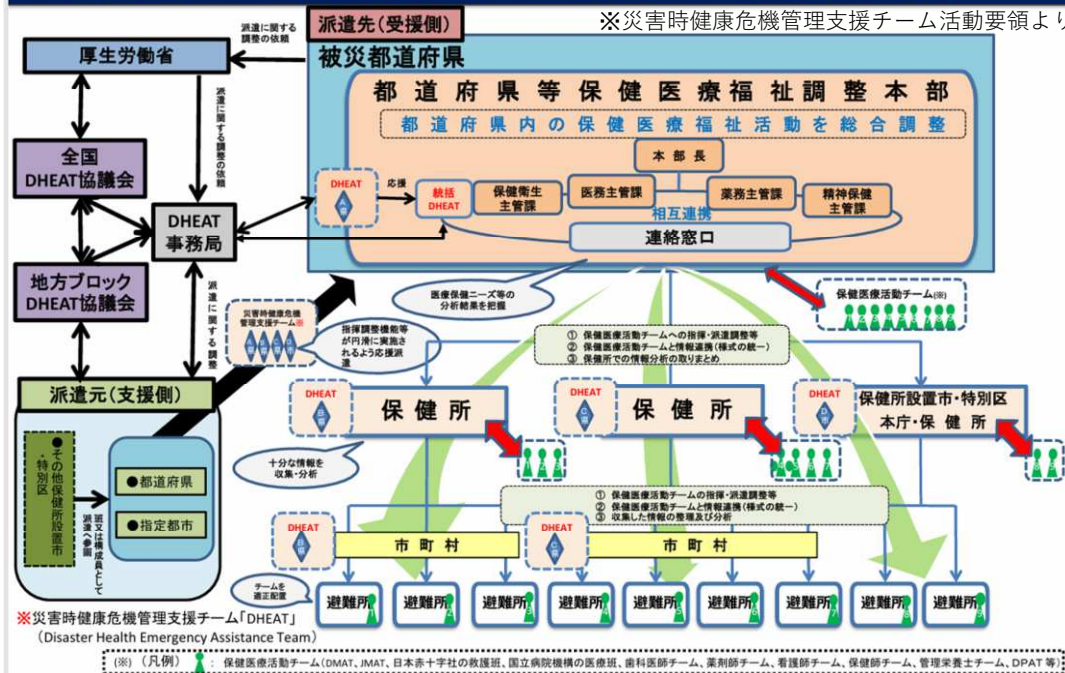


名古屋市について

【災害時における健康危機への対応】
被災自治体だけでは困難な場合が多い・・・
外部からの支援を含めた体制づくりが必要！

平成30年3月
災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)発足

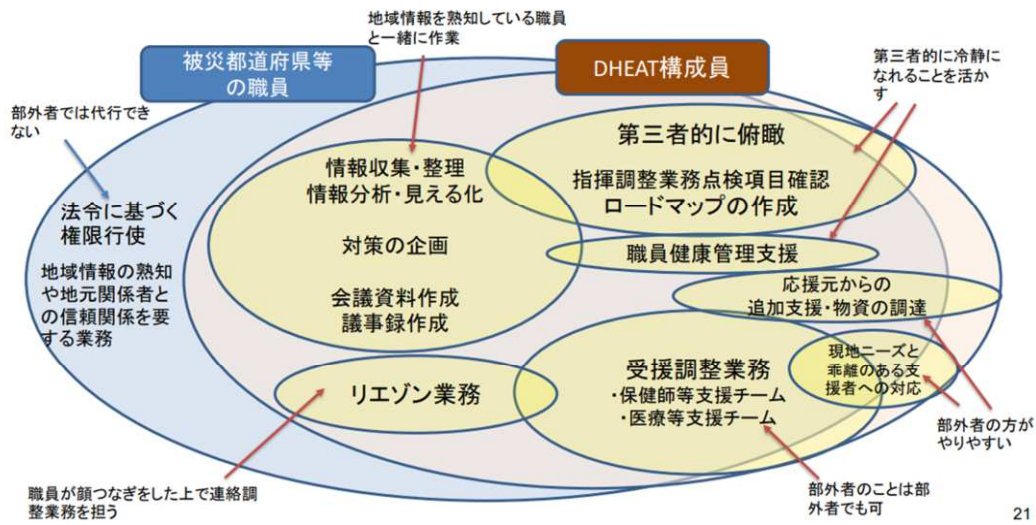
※災害時健康危機管理支援チーム活動要領より



DHEAT構成員による応援の在り方

出典：災害時健康危機管理支援チーム（DHEAT）について 厚生労働省健康局健康課 地域保健室

被災地方公共団体の保健医療調整本部及び保健所の職員は、法令に基づく権限の行使のほか、地域情報の熟知や地元関係者との信頼関係を要する業務を担い、DHEATの構成員はそれ以外の業務及び第三者性を活かした業務を担うなど、それぞれの特性を活かした業務を担う。



派遣詳細



活動

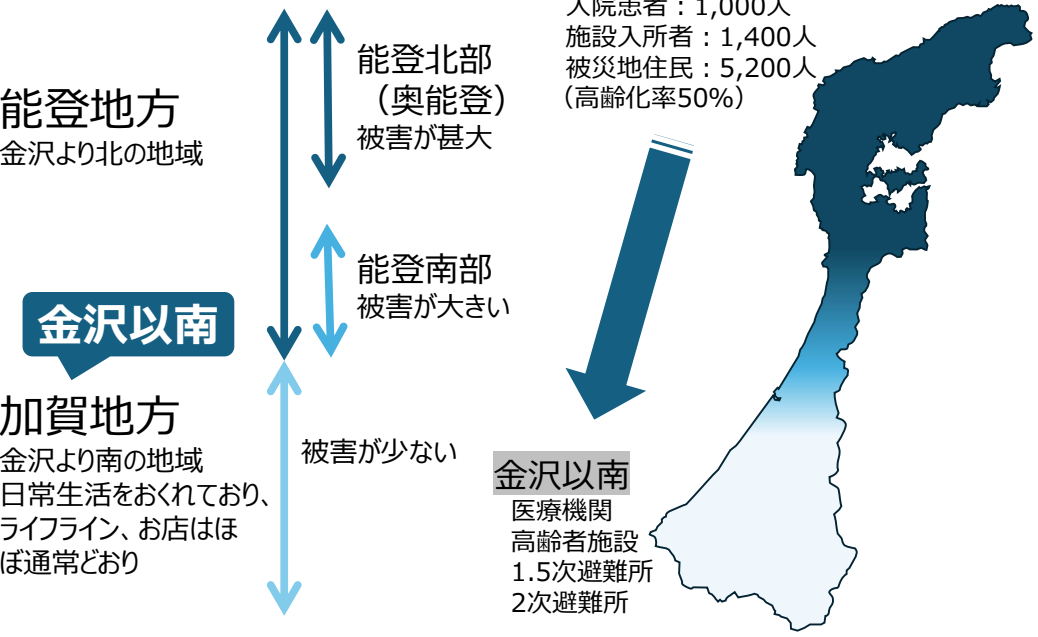
- 石川県庁金沢以南保健医療福祉調整本部において健康危機管理組織の立ち上げと指揮調整体制の構築等総合指揮調整を行う

派遣計画

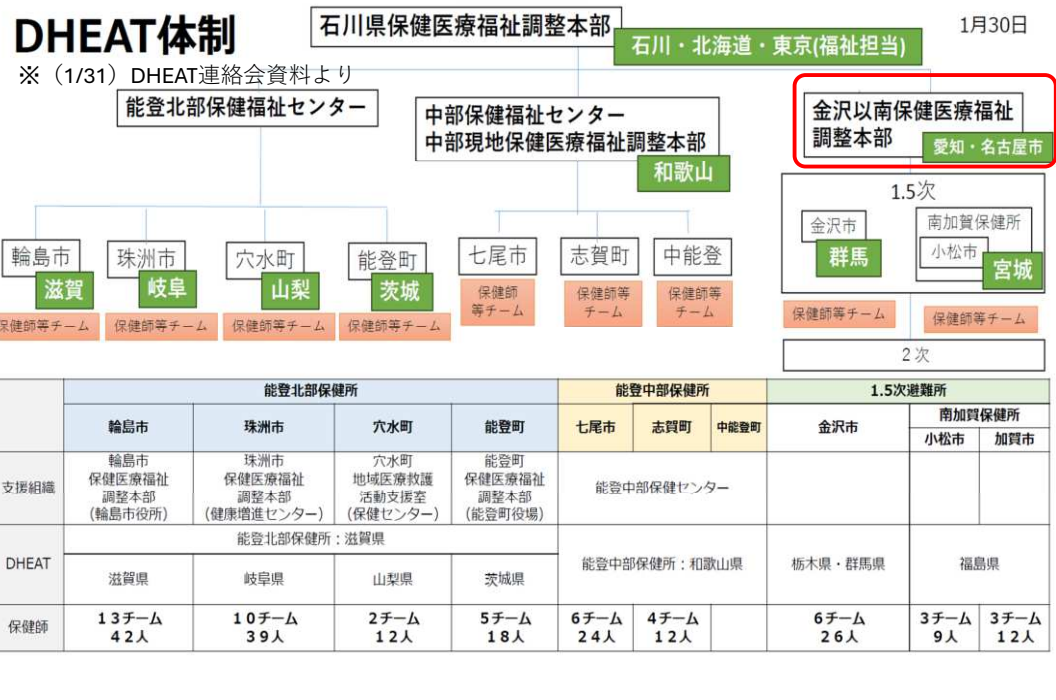
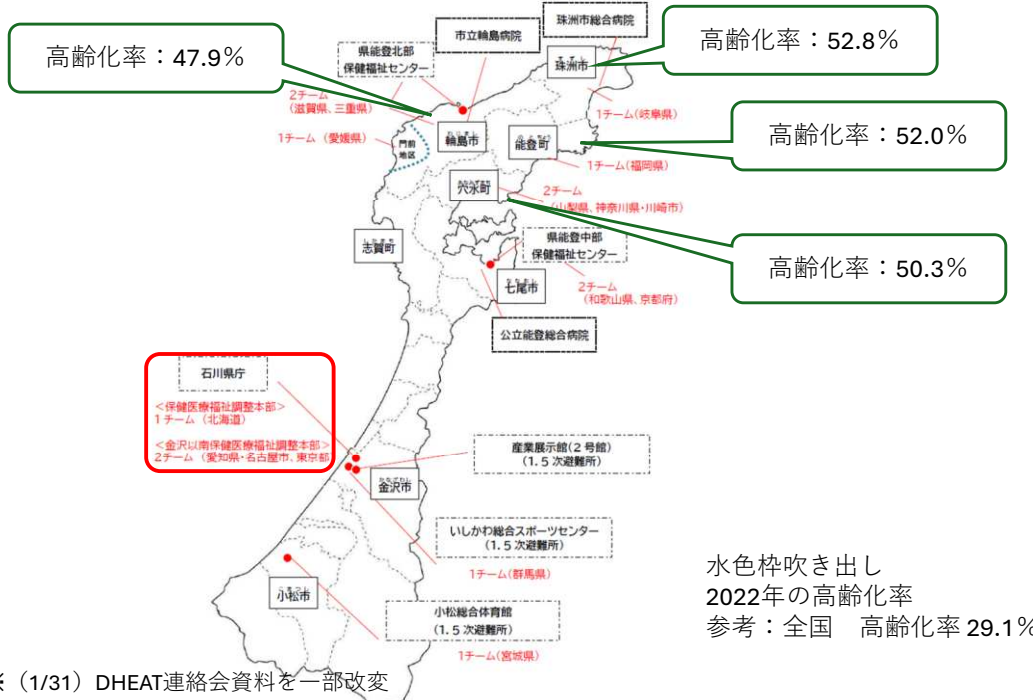
- 愛知県・中核市の混合チーム、名古屋市で7班が活動
- 名古屋市は第2班と第4班を担当

	派遣期間	医師	保健師①	保健師②	薬剤師・獣医師等	ロジ
第1班	1/20～1/27	(県)	(県)	(県)	(県)	(県)
第2班	1/26～2/2	HC所長	感染症対策室主査	HC保健師	HC主査 歯科医師	コロナ室主幹
第3班	2/1～2/8	(県)	(県)	(中核市)	(中核市)	(県)
第4班	2/7～2/14	健康部主幹	コロナ室主査	HC主査	健康増進課 歯科医師	保健医療課主査
第5班	2/13～2/20	(中核市)	(県)	(中核市)	(県)	(県)
第6班	2/19～2/26	(中核市)	(県)	(中核市)	(中核市)	(県)
第7班	2/25～2/29	(中核市)	(県)	(中核市)	(県)	(県)

被災状況

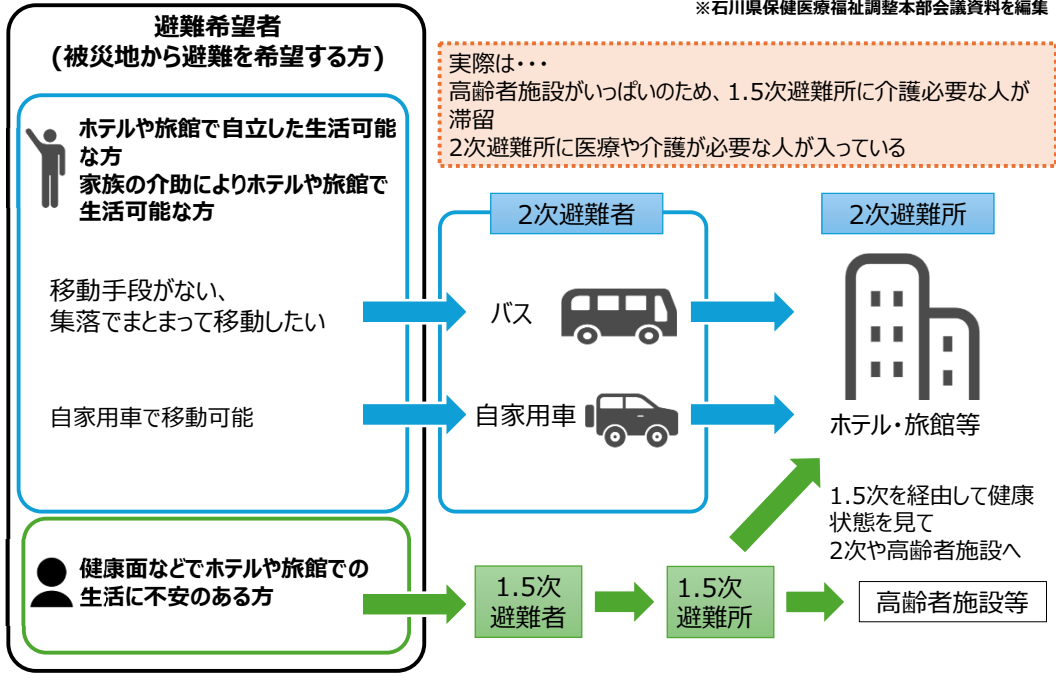


※DHEATの派遣先（1月31日時点）
三重県、愛媛県、神奈川県・川崎市：現地活動は2月1日～



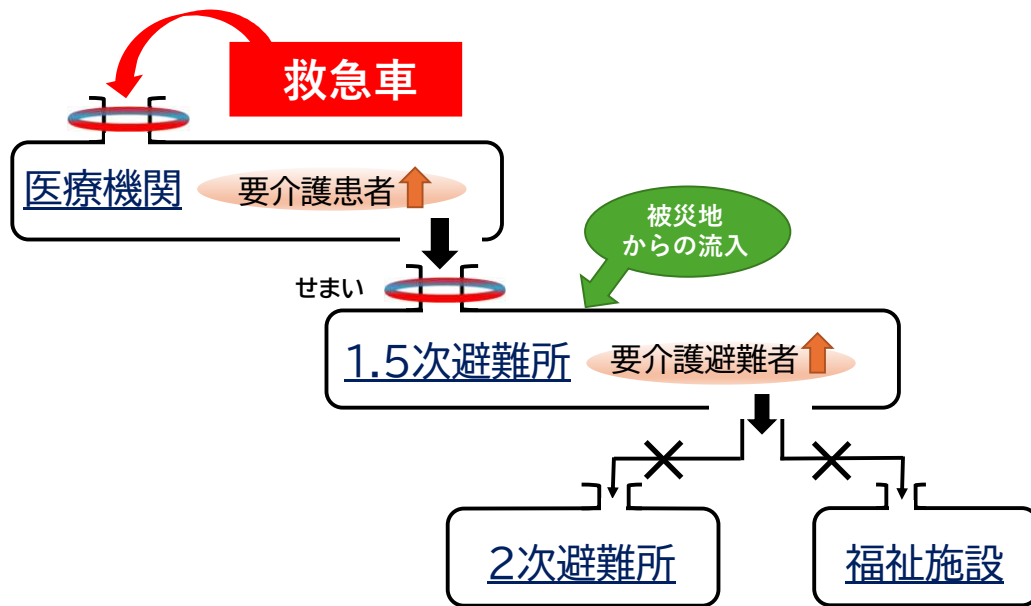
被災地からの避難（1.5次、2次避難）について

※石川県保健医療福祉調整本部会議資料を編集



派遣時、金沢以南で生じていた問題

- 1.5次避難所
要介護者数の増加と滞在の長期化
福祉、看護人員確保の必要性
- 2次避難所
自立して生活することが困難な人や徘徊する人等、想定と異なる避難者
心身の活力低下（フレイル問題）
避難者情報管理の難しさ
- 集団避難所
市町の通常業務と避難所運営を担うため職員疲弊と不足
- 高齢者施設
ほぼ満床状態、更なる受け入れ困難



■ DMAT

DMAT活動終了に向け、需要の変化への対応と人材確保の整理

■ JMAT

2次避難所訪問先で拒否されないための対策
訪問により得た情報の共有

金沢以南保健医療福祉調整本部の活動

- 保健所や避難所DHEATからの情報収集・調整
- 保健医療福祉活動チームからの情報収集・調整
- 調整本部会議に係る本庁との調整・資料作成・運営

石川中央保健所



国立感染症研究所チーム（FETP）と現地視察



松任総合運動公園体育館（白山市）



松任総合運動公園体育館（白山市）



松任総合運動公園体育館（白山市）



松任総合運動公園体育館（白山市）





名古屋市 DHEAT養成研修修了者 (H28~R6)

- 能登への派遣が初出勤
- 出勤して感じた課題
 - ・ 人員確保
 - ・ 物資準備
- マニュアル修正や訓練実施

職種	養成研修受講者
医師	9名 (内 実務経験者2名)
歯科医師	2名 (内 実務経験者2名)
保健師	8名 (内 実務経験者1名) ※研修未受講者 実務経験者3名
薬剤師	4名
管理栄養士	2名
獣医師	2名
精神保健福祉士	2名
事務職(ロジスティック要員)	6名 ※研修未受講者 実務経験者2名



名古屋市について



集団避難所の掲示より
石川県観光PRマスコットキャラクター ひやくまんさん
「あんやとね」は金沢弁で「ありがとう」の意味

ご清聴ありがとうございました。